

欠かせぬ力

地域の防犯サポーターの役割

「防犯サポーター」とは、地域安全マップの作製にかかわる地域の協力者の総称で、マップ作りの活動には、地域のことをよく知るサポーターの皆さんの協力が必要です。子どもたちと一緒にフィールドワークを行い、子どもたちが気付く手助けをすることによって、サポーター一人一人の防犯意識の向上にもつながり、犯罪に強い安全・安心なまちづくりを進めることができます。

地域安全マップのポイント
子ども自身が考え、作製

- ▼
- 子どもをサポートするために
- ◆事前学習で危険な場所のポイントを知る
- ◆問い掛けながら気付かせる
- ◆マップ作製でも助言する

ぜひあなたの地域でも！
作製記録DVDを貸し出します



地域安全マップ作製の活動全体の流れを分かりやすくまとめたDVDを無料で貸し出します。また、マップ作りにかかわる疑問などについても気軽にお問い合わせください。

詳細 総務企画課地域安全担当 ☎北区委内所内線214

ステップ4 発表会



最後に、フィールドワークやマップ作りを通して、発見したことや感じたことなどを発表し合います。

発表会にはマップ作りに参加した児童や防犯サポーターだけではなく、地域の人々や保護者も多数詰め掛けました。子どもたちが「放置自転車がそのままになっていて危険だと思いました」と発表すると、防犯サポーターは「それは地域の関心が低いことの表れで、『入りやすく見えにくい』場所ですね。住民が住んでいる街にもっと関心を持たなくては」と話していました。

ステップ3 マップ作製



フィールドワークから戻ったら、集めた情報を基に「地域安全マップ」を作ります。まず模造紙に街並みを描いた後、撮影した写真を張り付け、フィールドワークで記録したメモを見ながら、理由などのコメントを書き込んでいきます。

「この家は『子ども110番』の家だったね」などと確認し合ったり、防犯サポーターから助言をもらったりしながら作業を進めました。目立つように写真を切り抜くなど、工夫を凝らしたマップに仕上げました。

鉄西地区オリジナル 子ども安全マップ完成

北九条小学校の五年生が、北大生や鉄西連合町内会など地域の人たちと一緒に「子ども安全マップin鉄西2007」を作製しました。

子どもたちと地域の人が実際に校区内を歩いて、犯罪が起こりやすい危険な場所のほかに、交通安全や冬道での危険度なども併せて調べることにより、さまざまな危険な場所を子どもたち自らが発見。

フィールドワークで分かった危険な場所や安全な場所をイラストを使った目印で見やすく表示しました。また「クランク通」など、地域に愛着が持てるようにと同校六年生が名付けた道路名も紹介されています。いつでも持ち歩いて活用してほしいと願い、同校児童全員に配布されました。

■詳細 鉄西まちづくりセンター
☎(726)52000

